

新編水滸畫傳

八編

十



• 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 JAPAN Tama

門號卷
875
80

新編水滸傳卷之八拾

東武 高井蘭山翁譯編

明治三十四年十一月二十日
騎木

○宋江大小紀山軍之勝

宋江軍小便く兵用と商議小股ば處ふ。盧俊義及び河内の降將ホ各西京小向んと乞う。されば宋江に怪ぐ。盧俊義と大物として九人の猛将五万の軍馬を派く。西京小向く。ひも法ねハ副軍師朱武。楊志。徐寧。索超。孫立。單廷陸。魏定國。陳達。楊春。董平。解珍。解宝。鄒潤。鄒淵。薛永。李忠。穆弘。鄧飛。小二万の軍馬を派す。山士奇。唐斌。次の日宋江小辞す。右西京小を発し。招安ゆる。史毛。穆弘。歐鵬。鄧飛。小二万の軍馬を派す。山南の隊とちりしめ。自ら多くの船と引き勢放て。八万金綱。莉麻小向ひ。毎日行と六十里。

と陳れしる。わおもねととす。兵馬已小紀山の下小御く屯せり。
紀山の郭内のかく室城。上小城に李衡二方の兵馬と外へ。
彦李衡の徑にて王慶宣撫使小封へ。時李衡小妻へく告れ
る。大ふ簇毛王慶小奏もんば。王慶大ふ怒り。第に水達の系冠へんを
猖獗なるとぞ。於智杜堡小十二人の猛わ二方の兵馬と外く西系と故
しめ。統軍附守小十二人の猛わ二方の兵馬と外く荆南と救りて築
小二丈の玄牆を連送り。第に令して李衡の城中の勇者を下
ゆも勇者後。尋考ふえとびと嚴令。次日秦明董平徐寧。昨
延灼張清支綱。金鼎。夏侯。二方の兵るとひく紀山の下小押忠の主ら。
李衡の強力。馬勁袁朗。勝残。孫戰と左右小徒。二方の兵と引く。山下
切つて兩軍令鼓喧く。新羅風小翻り城ね。喜納。喜納。馬と知りけを。

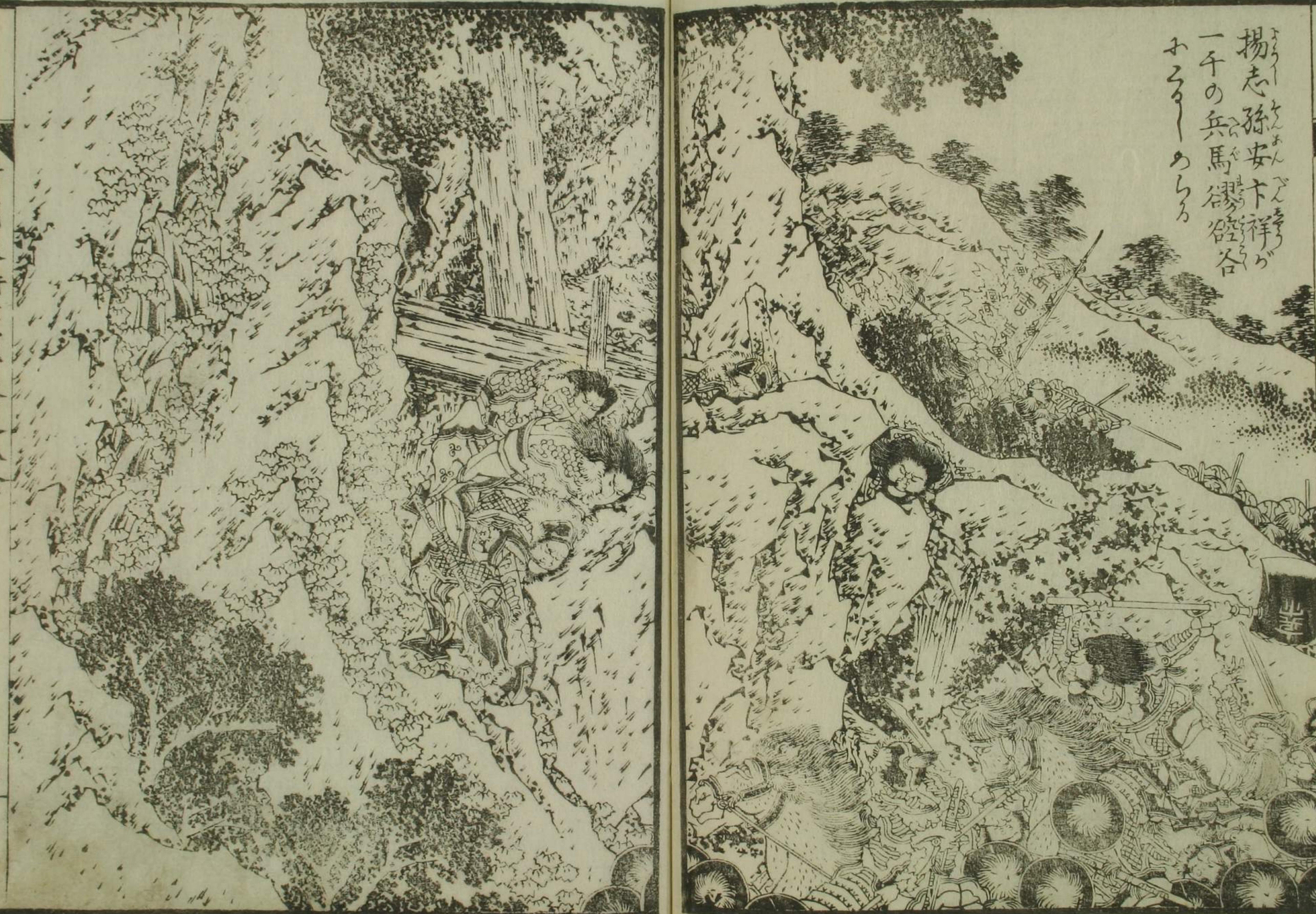
猪。金鼎。黃彌。遠鐵。ひ。喜納。金鼎と付ぬける。左。小。喜納。鐵。怒く。喜
納と付んと戦ひ。り。黄。不。威。も。猪。小。生。授。き。秦。明。と。て。お。残。。安。ね。慶
英。小。金。軍。の。圓。冠。と。戴。。紅。羅。の。残。祀。と。ま。と。戦。と。挺。と。て。城
猪。殘。陳。不。生。大。か。美。く。云。寔。に。お。ま。小。是。重。冠。を。り。軍。中。小。女。と
用。る。也。二。尖。刀。と。猪。。慶。英。と。猪。。小。女。ね。洋。負。く。迎。え。ば。猪。殘。大。小
猪。。迎。不。時。石。子。と。猪。。鼻。梁。と。お。れ。猪。殘。馬。と。戦。と。漫。突。る
と。同。一。戰。小。突。殺。。且。猪。殘。馬。と。殺。。し。か。う。と。以。延。灼。事。く。お
城。。王。師。李。衡。猪。殘。馬。と。戦。。か。ん。と。常。と。收。や。双。方。え。引。ひ。る。翌。日。呂。用
が。針。そ。魯。智。深。武。松。李。達。ホ。十。人。山。下。の。小。猪。よ。り。山。の。後。小。迎。り。義
み。よ。り。山。塞。小。攻。入。し。め。魯。智。深。武。松。李。達。ホ。十。人。山。下。の。小。猪。よ。り。山。の。後。小。迎。り。義
死。一。馬。勁。猪。殘。馬。と。戦。。馬。強。力。の。逃。き。城。軍。大。軍。付。き。紀。山。勿。ち

彦去り。それ宋に山ふ上り。令娘楊朱と知く。二軍小方ちと。大と
少く山塞と旋拂ひ。尊智原の功と紀し。ひく。小處後義が大を
西系ふを參り。小方參の城。武城と號す。海東湖
小坂の志多日と經く。西系城三十里伊闕山の下ふ。而く。此城
中の勳將と。ほく。主師の偽宣撫使。藝端及び。統軍。美務。猛。數
人と從へて。法。美務。ハ。翁く。陳法の主。妙と。後。義。朱武
と。并く。循環八卦の陣と。はて。待。妙。美務。ハ。李主師。六元の陳と
翁。朱武。又。陳法。小達す。し。忽。六元の陳と。お。破。楊志。主。軍中
翁。小切。金。美務。お。北。と。走。逃。小。孫安。下。祥。伊闕山の下。小。逃。如。る
時。山。坡。の。將。小。金。鼓。と。お。城。の。伏。乞。一方。の大。兵。一。發。小。起。孫安。勇。威。
く。城。の。猛。わ。二人。付。か。一。子。徐。揚。の。軍。軍。敵。の。計。ふ。漏。り。源。各。の。中。ふ

廻入らる。ば。源。各。に。直。石。壁。を。か。ふ。活。り。城。兵。直。石。を。各。に。城
塞。つ。ご。藝。端。二。子。の。軍。と。ゆ。く。否。と。圍。三。う。尊。後。義。ハ。終。軍。と
奪。ひ。城。と。切。と。一。万。條。人。さん。ち。楊。志。孫。安。下。祥。お。軍。勢。と。へ。ざ
べ。解。除。お。小。參。し。ち。ふ。あ。ま。じ。べ。次。の。日。祥。闕。山。の。東。巣。ふ。よ。う。遠。ふ。山
の。あ。と。原。ふ。源。各。中。ふ。一。族。の。人。る。出。ふ。と。り。れ。ば。山。づ。き。ふ。山。の。ま
と。る。く。せ。ふ。馨。館。各。と。名。け。一。條。の。路。あ。の。と。往。く。案。内。と。れ。解。除
の。と。引。鄒。淵。鄒。淵。の。兵。も。出。ふ。城。兵。と。追。拂。ひ。本。石。と。隊。各。中。ふ。を。と
い。ふ。も。あ。の。ひ。ひ。ぎ。と。出。否。楊。志。孫。安。下。祥。一。子。の。軍。馬。立。ふ。尼。ら
られ。合。樹。下。ふ。生。し。死。と。時。の。か。あ。り。し。ふ。解。除。お。う。人。る。ま。ろ。と。と。く
義。生。じ。く。他。と。解。除。拂。へ。あり。乾。糧。と。楊。志。ひ。下。窮。人。ふ。と。く。名。谷。に
よう。切。出。車。陳。ふ。ゆ。く。れ。べ。と。屬。後。義。大。ふ。安。法。は。け。る。如。ふ。王。慶。新。ふ

揚志孫安下
一千の兵馬
谷

ふるくわらわ



彦舟智杜堂ふ十二人の猛わニ万の兵と漏く。併國の城と敵りし。
己ふ三十里外ふ兵をもと探る報ト。四十里外。彦舟智杜堂。劉先武。楊志。孫
立。軍廷。陸魏定。喬公達。馬英。ふ二万の兵と孫。軍隊の兵をもじら。
城兵の城中。攻めると勝し。解隊。足。穆春。薛永。ふ陳平。と
自ら。自ら。二房の兵と。杜堂が兵と。連人と。勝て。兵の。四十里。り
陳。ひ。下。ふ。全。鼓。の。軍。と。城。ね。と。揮。兵。の。城。ね。衛。鶴。あ。え
ふ。馬。と。あ。る。宋。軍。よ。り。山。士。奇。追。へ。錢。衛。鶴。と。対。殺。と。城。ね。都。泰
大。ふ。怒。う。山。士。奇。と。斬。ひ。後。備。と。斬。一。箭。ふ。山。士。奇。ゲ。引。と。お。碑。
下。洋。ま。う。あ。く。都。泰。と。切。殺。す。時。主。師。杜。堂。面。ね。と。先。ひ。大。あ。怒。
紅。あ。れ。ば。廬。復。義。自。鍔。と。五。十。將。令。綠。安。技。ん。と。紹。先。の。ま。ぐ。城。ね。卒
茂。將。牙。根。と。ぬ。く。あ。る。知。ふ。綠。安。一。劍。ふ。卒。茂。と。切。殺。し。杜。堂。の。後。5

右の。陣。戸。と。切。底。せ。と。忽。ち。馬。よ。り。駆。る。と。廬。復。義。一。箭。ふ。突。射。し。
小。弓。と。ほ。る。处。小。城。の。一。人。出。あ。り。射。ひ。口。中。ふ。空。も。と。あ。白。劍。と
按。正。南。小。向。ひ。切。く。兵。に。城。の。に。よ。り。火。と。掌。出。火。焰。怒。盛。小。して。宋
軍。と。撃。ま。る。廬。復。義。急。き。避。る。も。なく。從。兵。大。ふ。孔。と。ひ。と。撃。撃。
と。兵。う。ん。令。鼓。刀。鎗。と。撃。近。と。り。れ。ど。撃。殺。ま。る。兵。ふ。小。兵。人。廬。復。義
大。ふ。級。軍。し。奉。ヒ。と。逃。亡。が。下。洋。後。ふ。い。れ。城。の。大。う。そ。撃。殺。大。
火。と。あ。る。よ。う。所。と。城。兵。れ。ま。と。突。か。ふ。殺。ま。る。兵。ふ。小。兵。人。廬。復。義
か。く。突。け。あ。く。井。水。三。味。の。は。と。り。ぐ。や。軍。黑。宋。奔。り。黑。布。と。突。
ド。彼。奴。大。と。消。滅。べ。城。お。好。被。殺。ま。と。ア。ム。馬。と。同。逃。る。と。喬。公。
清。追。キ。劍。と。揮。く。あ。い。と。あ。い。城。兵。時。大。ふ。級。か。一。波。と。倒。る。老
五百。衆。人。喬。公。大。ふ。喝。し。老。者。ハ。ゆ。人。背。ぶ。塵。ふ。せ。ん。と。呼。れ。ば。城。

多刀戦と捨ててお伏し。喬の活潑と止む事なかつ。馬優義の
くと告げて大勝びを功と称せり。彦馬の城わざと妖術者の中名残
向ふ彼老冠威とや妖火と発つ人と煙草せふれ。毒焰鬼王
といひ。王慶と掛け悪ひとなげん。自ら情くあ向へり。ねも嫌ゆふ
と城より襲ゆ。美鷹故の乞附とくと見え。寧くも城と出び一
夕喬の活潑とぬく寒蟄と起り。西京城と遙く限入も難い。
面と對まれせ。维あると知りぬ。じ間ふ雲樹巖端と思ふまふ城の
四方一ヶ城垣よう越入含弓の砲と宋はよ放つ時。室物忽ち皆
うち。宋はよ放く火種と知り。火種と知り。火種と知り。火種と知り。
軍士大ふ殺を。わが敵あると一すも効く。されば城中の
大切をもとめ難ゆ。美鷹も即ち多く私軍ふ付ゆ。城を守るもどろ

○ 小旗風船と花火と綿と穀子

老三旁人殺死の老數あれす。龜腹義城ふへて様と出。百姓絶
安んぐ。喬公清が大功と紀。二軍と嘗勞。馬夷と使と。家
兵縛ふ捷と告り。余は汝ふ歟。あくえ。爰を之總。荆南の軍。もあくめ
敵兵と破り。城わ紺中と生投ひと。被せ成卒ふ劣劣若の様。し
るや。ゆふ寧々。守勢へ是事。作まひうと。告り。左喬公清。馬夷あふ
西家城と。ちりしめ自。大もと。下く。荊南ふ。ひ。ひ。宋。の。陈。よ。る。ぬ
○小旋風砲と。砲。城と。擊

神医安らを。廢帝ふ。後く。寔ひ。わ
き。大ふ。故。ひ。り。又。如。ふ。軍。士。報。し。く。云。唐。城。の。蕭。肅。儀。あ。と。送。行。下。よ。荆
南の城。わ。繁。敗。る。傍。う。き。鳥。ふ。虫。食。の。是。寔。ひ。下。よ。部。を。蟲。と。續。續
と。蟲。勝。あ。計。る。と。之。唐。城。彼。二。お。對。一。被。戰。と。之。也。小。勢。あ

子小城の多勢をもじ。摩賀勝を討き。蕭儀豈宣令を大聖へ告言せり。す
と。城守ふと多く攻めし。蕭後義の大兵來ると。生殺の手
引く。さうひと。軍に吹く声と放く。蕭儀おと會休ましとて。病勢
始のとく。沈重なり。危ね告あく。お慰む。蕭後義向。蕭儀坐へりと
何様ふりある。軍に疾小咽あく。蕭儀お我病と向ん
くる。あり。又弱く。陳安撫の命にて。碑石と勒る。蕭儀お我病と向ん
左。唐城ふと騎と滅く。送く。一ふ料。今。の次第。可何年
無駄。馬駆と。挫く仇と報し。と。蕭後義終焉。北漢ふと。良
用ふ里へれど。五年。蕭儀お。控へられ。と。將軍。是用兵で。蕭
後義と。儀一崩ね。小城の四面と。攻へ。雲林ふと。城中と。雪まよ
轍。小城り。蕭儀。三入と。多く。敗す。お延延せんは。敵と。す破つ民

百姓まで。善惡の邊り。虜。そんと。竹へ。じ。南城の主。劉樂。水の副
將。と。統。して。至。日。廢。勝。の。勢。が。蕭儀。二。人と。生。殺。を。と
せ。え。よう。和。善。の。書。生。の。大。名。と。坐。及。べ。彼。と。將。軍。せ。り。ん。と。自。ら。も
御。と。解。渴。せ。ん。と。と。効。ひ。三。人。罵。と。善。意。の。械。夏。も。我。ら。二。人。が
孫。ぞ。と。堵。ふ。せ。ん。と。と。因。て。と。あ。れ。逃。不。知。と。逃。す。軍。を。解。け。城。と
敵。が。物。お。氣。味。の。骨。と。壁。を。方。向。く。ん。と。以。ま。と。済。か。無。怒。て。城。ら
軍。く。あ。然。と。あ。ん。と。空。を。我。と。慢。く。化。擺。布。ん。と。軍。士。二。人
と。杖。と。轄。門。の。和。お。加。居。ひ。げ。時。三。人。ハ。城。と。置。く。止。ば。城。中。大。勢。立
勢。く。う。る。因。ふ。壯。士。一。人。姓。ち。蕭。名。ハ。嘉。惠。と。云。老。株。南。の。街。絃。紳
の。西。庫。小。寓。居。せ。り。と。も。の。蕭。儀。が。あ。北。朝。の。時。祁。南。の。刺。史。と。しが
或。時。渴。水。渴。と。崩。と。休。ふ。も。一。き。あ。る。水。壯。き。い。二。言。と。仰。く。水。と

退く。境と敵。七年又大ふ實り。臺六城と生れ。と。小家と
あい争と。み。け。刑軍ふたびしが。刑軍の人生と。徳あると。そ
まう。教主。あいえ志氣。か。力。方。を。勝。が。お。術。小達。と。あ。ど。我
も。隠。王度。乱と。な。刑。も。城。と。攻。時。も。ち。城。の。わ。計。と。敵。と
れ。す。身。ひ。き。ね。が。と。王度。ふ。集。と。は。ふ。令。と。せ。城。中。の。人。百
姓。と。他。ふ。知。と。许。と。が。是。れ。と。ひ。あ。あ。と。城。中。ふ。止。り。日
敵。と。討。と。思。へ。と。一人。と。牛。と。做。と。か。り。ふ。は。今。と。家。吉。部。り
ふ。様。と。攻。百姓。お。忍。ま。る。色。と。と。え。又。蕭。肅。德。お。の。義。士。と。か。号。と。え
く。口。怒。り。機。会。あ。ふ。仕。寫。居。ふ。回。す。と。叫。く。墨。と。擇。と。あ
書。象。の。紙。鋪。と。て。石。頭。と。あ。め。筆。と。絵。と。教。授。の。古。と。徳。め。私。ふ。入
く。廢。あ。廢。後。小。板。が。次。の。日。彼。此。と。機。ひ。城。中。ふ。流。傳。す。ま。文

城中都見宋朝良民。以不肯降。且助賊。宋兒鋒是朝廷良將。
到處莫敢攖其鋒。手下猛將百八人。情同股肱。轅門外加号。
三人義不屈膝。宋先鋒之忠義可知。今日賊人若害此三人。
人城墮之日。王石共焚城中百姓。欲保全者。隨我殺賊。

はるかまよ
ひ落書のとと繋がる。まづ
緊く機つとちりしめ。宣令書を命じ、宣向
せしむ。此時蕭嘉嘉、愈々宝刀と情ゆく。まるで、ふ彼文句と唱へ、詭めぐり。
宣令文が詔迫ると、近ちの首をお殺す。百姓を殺す我、か従つて
と、殺す。皆は人の体を殺す。守ねる者五百姓と、とて、勿ち含締す
る者數百人同殺す。お腹下。此時、ふあふ人集ひて、蕭嘉嘉、愈々殺て、帥
府中入。梁水始め男女衆、一切殺し。此時、もやを、勢二万小船まで、

蕭徽の鄉と解旗力ある軍士ふ更せ梁水を指すかより
底民ふ下かして城ねる縛りと教く。門と被き吊れと下さうめふ。
是用は時也と攻く丘しが城を切く出うと思ひ。小口と退けふ。蕭徽
車馬あう小車とあると笑ふ。余車ふくれとあるの焉な。あく城
ふへまとある左。是用無と引く押入東面南門の軍士及す。紀と
科り。盛と卸ぐ。余。恐心ふ宋兵と連へ只廢姓の勇猛を切
抜失う。是用人と考。宋にふ始末と告げた。大不快。病の輕
ると七八日自ら崔躍一筋ふ抜けられ。郡を城中ふ入。師府ふ座し。
先百姓と繋じ。五年と處し。自ら蕭嘉惠と上姓ふ。徳おして云
壯士の豪。眷族人の及ぶああべ。又ふ血ぬけ城外と繋じ。生夷
と侏ら我三人の足手と故いあり。は財を絶え絶えじと。蕭嘉惠徑
と還して云。此系が族か。ば能軍民の力こと。事はゆと笑く。益衆少
一。少酒食と復け答ひ。身自し。孟と稱く。蕭が事ふ初めく云。元よ
り里下の鷗才。其往何人。仰げざん。朝廷小奏。必び居と云
矣とあん。蕭嘉惠。言。事功名。富貴のゆふ。答と為ふ。正
ふ今後人志と云。賢良の屈害。口と數は。某どんハ友守
の責あく。間雲時。發行との天ふ。應へ。と復ふ。と復ふ。次の日。寔
に戴家と使く。捷と張安撫。報す。自し。れわと持し。蕭
仕官の寓居と。宿ふ。と。宿ふ。と。宿ふ。のう。隣家の紙舗と。而し
だ。蕭先生の。胡。天。奉。劍。書。と。子。負。し。め。去。處。と。あ。ば。
と。家。の。中。小。暖。歎。一。回。徳。財。も。奇。す。と。感。

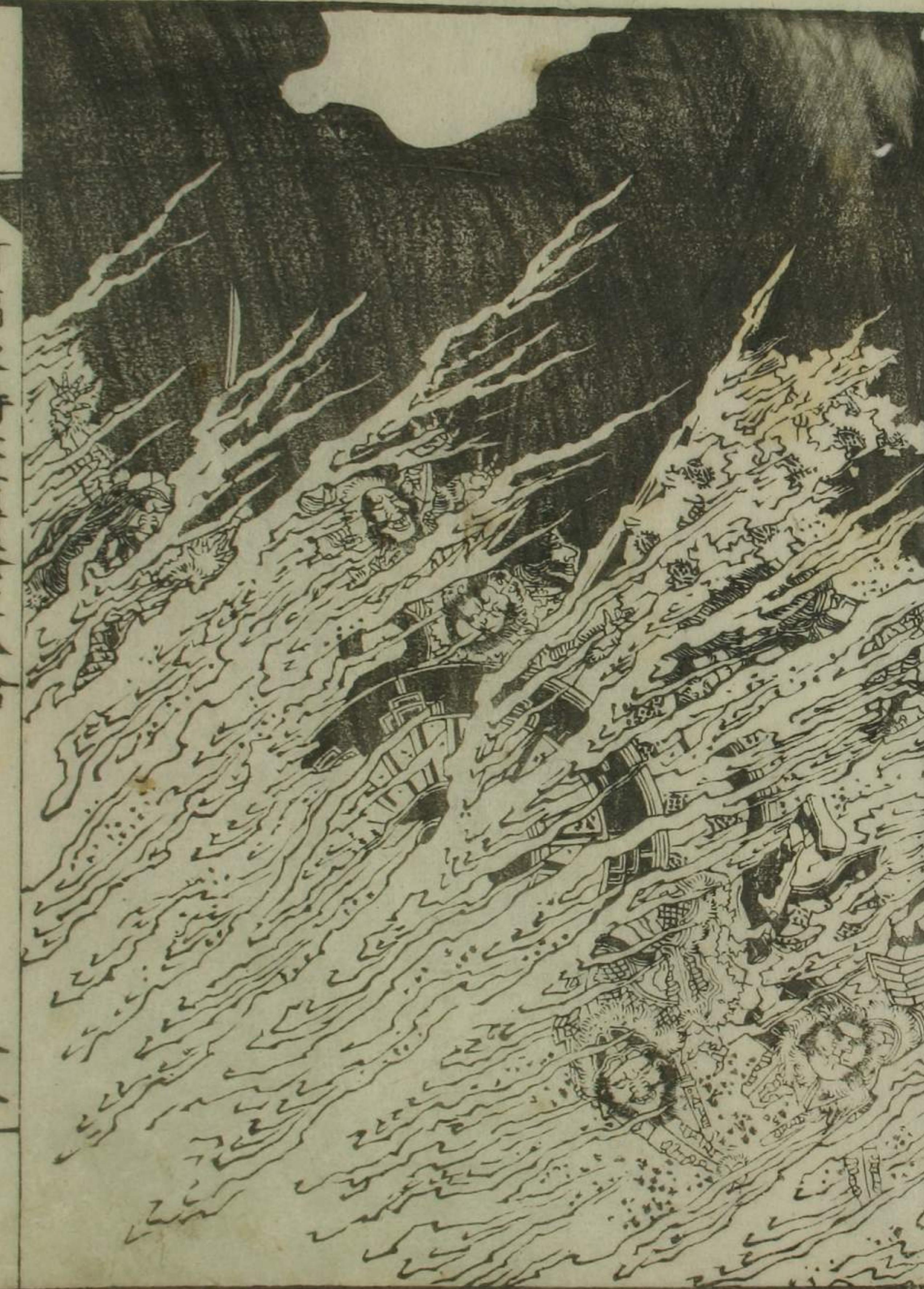
慨り。此乃戴宗同り告る。陳安邦の言と告る。死にしを既に
定まつた。又陳安邦候事。羅殿と稱り。撲冲。花家木と云ふ。不
一又朝廷より。新友近づ。彼は小名あれど。近日陳安邦に付ふ。未
然あらず。極も寛ひ。荆南。軍勢と。総理して。又自。虎子。車
馬。時。結安邦。兵馬。別名。あらば。宋は是と。城中帥府。往け
て。安邦。虎子。新友と交代して。ば。權。不。別。矣。す。ば。軍勢
攻めんと。あらず。と。至る。を。奪ひ。大去と。引く。王慶の軍。冗成
河。の。麾。下。孫。安。木。十一人。を。勢。かく。二十餘。万。都。り。す。ま。お。傍。を
感。大。小。お。振。ひ。か。處。の。地。方。か。く。も。權。と。あらば。城。人。風。と。至。で
御。ま。い。日。と。や。大。兵。萬。豈。の。界。か。む。る。時。の。み。擇。馬。同。り。告

けろ。の。城。人。王。慶。李。和。と。統。軍。大。え。作。と。雲。南。東。川。安。德。三。和。の
知。と。物。と。ハ。万。縛。と。先。陈。と。王。慶。自。制。以。教。上。官。義。お。數。
人の。極。ね。と。從。へ。十。万。の。雄。志。と。絆。拒。ぐ。と。宿。に。喰。、微。お。機。と。絆。ナ
攻。素。と。何。の。糾。と。形。ん。善。用。ダ。今。秋。急。と。數。隊。お。令。ら。彼。と。して
敵。接。せん。吸。う。ヒ。ん。を。要。と。く。軍。は。ダ。云。莫。不。拂。つ。と。糾。志。と。數
隊。お。が。つ。と。ぞ。事。急。染。を。單。廷。陸。魏。定。玉。絕。敗。薛。永。穆。袁。唐。志
ふ。え。ふ。の。人。る。と。糾。り。め。糧。軍。大。炮。と。數。枚。の。車。お。積。し。め。大。去。の。後
へ。不。隨。ア。し。と。ぞ。次。施。つ。み。の。面。ある。も。私。の。下。小。毛。ア。お。げ。次。東。風。大
軍。と。源。大。と。と。ぞ。迎。ふ。數。石。弓。の。車。お。壓。み。と。が。糧。軍。の。車。と。こ。ふ。推
入。し。と。お。小。毛。と。含。ま。ん。と。も。る。お。薛。永。お。被。而。と。そ。故。の。奸。細。一。企

投へ本とて。宋を破と拂門もろす。彼老云。麻賊精兵と外と今次
二丈小宋の程あと焼くと。今殆づ山小屯なりと。李良岐ては
機わ城人と切らさんと云と曰く。宋を去。麻賊八十名の英雄あれ
ばかど見へうべ。氣也く計と施し。唐城の仇と報うんと。數騎の精
兵火炮と李良岐三つの兵と流涙ふ。他不ふ運ぢや。數車の火炮射
と西軍の風下小並べ至。又百余枚の矢をわざりの程兵と精がふ
へ多く流せ。焰火の火薬を後し。施恩薛永穆まで。李良岐二千み
ると。流てるの東あ伏せし。草廷陸小兵も二千を減く。馬の毛
お伏し。宋逃れ。既定をと三百の弓兵と射し。各大隊と射め。樹林
の茂みふけろ。二丈の火炮ハ。天の罰也と。方の馬と射し。旗と伏敷と止
む。馬の逃れ。草廷陸小兵と見と。宋士とて大

拒と。馬と。自馬と。槍と撲く。麻賊と戦ふと。火合伴
負ふ。是下小逃れ。麻賊の勇もく針うれ人を逃れ。小逃れ。ば
時薛永。絶急急のあふ火拒の光もと。李良岐春と同じ
子綏鷗と。あ源とか。西軍あれの兵と逃りぬ。絶き。只あかの風よ
切あしが。只を。風のそよそよ程あと。又がんば。面と。搜ほふ。風下の草下
ふ二百騎手の車を。二四百人の軍士を。となく。車を。去ゆると。見
く。名喊と。逃り。逃れ。麻賊立。あり。又ふ十枚。と。の段子と。積
一車。あれ。火。城を。おきと。又。く。争ひ。争ひ。と。麻賊。逃く。止ん。と。せ
れ。ふ。ふ。よふ。後。寄。と。大。箭。大。炮。の。どく。射。す。日。城。を。射。る。き。逃。と
どる。昌。も。な。く。は。本。朝。と。う。燒。上。う。流。せ。火。能。硝。ふ。火。が。大。火。雷。の。どく。天。も
摧。け。地。烈。る。が。と。城。を。か。く。逃。と。被。て。麻。賊。を。殺。ふ。大。炮。ふ。お。殺。

賊將乘勝
糧草燒人
火攻不遇
難免



うる。ば時。施恩。おニ。猶。切。本。と。が。城。を。付。る。者。一。万。人。だ。ふ。兵。さ。る。
者。數。あ。く。天。明。や。く。は。軍。を。き。と。事。と。食。と。合。セ。捷。と。宋。先。彼。ふ
敵。ど。あ。は。大。ふ。恵。び。別。大。去。と。き。ん。と。恵。小。陞。つ。く。令。と。な。せ。ば。法。れ。
禁。ぐ。も。死。死。し。大。去。と。き。く。し。城。入。王。度。の。中。軍。統。管。聞。人。せ。も。ふ。
あ。と。水。済。る。を。す。せ。雲。あ。別。の。去。馬。禁。監。剣。以。教。と。ふ。生。終。と。し。東。
川。去。る。禁。監。上。官。義。と。副。生。終。と。あ。多。の。統。軍。李。雄。畢。先。と。
左。ふ。從。へ。安。他。の。統。軍。柳。元。瀋。忠。と。右。ふ。從。へ。統。軍。大。ね。惟。柳。又。
使。丘。翔。と。食。渡。と。極。密。方。綱。と。中。軍。の。相。美。と。王。度。自。う。文。
武。の。白。皮。と。從。へ。李。知。と。え。附。と。し。大。去。と。經。一。十。里。の。河。と。攻。あ。う。

○ 王度江と度く投る

曉。小。軍。哨。所。の。ま。塵。土。と。起。く。北。ある。お。先。お。渡。羽。希。張。清。大。

小。瓊。英。右。小。葉。清。あ。り。城。軍。よ。う。劉。以。教。上。官。義。の。一。ね。お。達。へ。お。城。
ふ。張。清。瓊。英。佯。り。負。く。近。り。と。城。の。二。ね。追。く。れ。ば。城。を。も。か。う。先。
追。逃。り。と。あ。い。石。ひ。と。お。の。石。人。と。ち。と。吹。る。と。止。う。寺。施。つ。山。の
後。よ。砲。害。と。李。達。樊。瑞。頂。亮。李。亮。五百。の。歩。兵。と。引。炮。牛。劉。以。
教。上。官。義。を。と。拓。く。突。ん。と。せ。づ。ふ。李。達。お。山。坡。の。後。小。走。り。行。ば。時。玉。
度。軍。物。が。大。軍。已。小。列。兵。と。合。て。李。達。と。追。く。小。形。と。入。先。下。平。
原。曉。空。の。堵。止。ら。軍。助。今。し。と。陳。と。列。ね。一。处。お。入。山。後。小。砲。害。
に。空。空。の。一。絆。一。旅。の。軍。を。馳。出。し。ま。と。お。き。ひ。の。王。英。孫。立。張。
吉。み。子。の。上。の。軍。と。ま。く。切。向。と。王。度。故。と。連。へ。と。せ。逃。あ。と。か。と。じ。女。ね。
鹿。三。娘。顧。大。娘。孫。二。娘。と。名。み。子。の。上。の。軍。と。從。へ。城。軍。の。右。小。炮。
く。ち。柳。え。雷。お。と。錢。され。ば。あ。邊。の。玉。英。孫。立。張。ま。の。城。軍。の。た。よ。

れ一李雄畢先と戰ひまくみを合戦へかくあへ逃走る。王慶
大ふ多く云。宋はうそひもど柔弱あつて我を今いじく廻らぬ
とく。大をと強く六里ぞく追ねしよ。勿ら縱戦。事を達撃陽。渾
元李を林中よりあび北出しど。僕小兵を智深は急挺剣唐
二きの事とし出まきば上友義兵と相まおほ事達ふれ故に
がれ綿毛とほふ合ふ林の中を近ひと王慶先とアシテを
走り退けし。時やの山ふ裏大炮響く。山河と割れ。山
下のあら數万の軍を湧出。王慶もよびたとあく。至る
處。鎧甲冑皆五色とからく八陣のは。全隊銀鞍林のど
又一列の奇絶と並べ。二卒の消令。年の下ふ三足の鏹轡るゆえ
ふ二ノハの英雄と見せしむ。左小生冠と戴き。鷲筆と笑せし。入雲

猿公孫務右ふ綸巾と戴き羽扇と。右。智多星呂布。中興の
照夜玉神子小勝。じへ忠あり義あり。虜と平げ。恩と報ふ。征西正
先。海東の及時雨。宋公明。自ら。アモ結界。多く。小張緒の剣
と。孫。守軍と掌掲。左小神。行太保。裁家。多く。龜轡と至り。左
右。小轡。多く。机密のとどまり。左。小十丈の猛馬と。小走。流
と挺へ。くねくね。右。小画角と吹全鼓と。而して陳劣十分小備。
嚴格。まろ鬼神も歎扼。へざる形勢。こ某ひ天子王慶を事助と
同く。宋軍の軍威と。くほく驚歎。へづる。宋軍閥と奔し
寔。あら。往ふ。も勢ひ破升のど。城ねと戦と。始ふ。宋の來あら
と電のどく。撃冲城。柳えと切落し。莫。行一劍。小瀋。あと切殺。已
ち城陣。勿ち乱き。王慶もあふと退んと。とんび。宋陳慶して。勿ち

長蛇のぬとなる。王慶軍と退ることも能ひざれば李紳と計つて軍士を殺す。楊雄城を殴みと切殺す。石秀は丘霸と切殺す。賊軍敗軍十六人、王慶は馬を止めふ。又一斉の危害を魯智深がねず。遠ふ八人の猛者、左李雄畢先と知り殺へし。又右より張清、王英、瓊英、扈三娘、孫立、ホニア、切きりとれど割菜をかく。あいへ城を守る八面小散乱す。おう老蟲万と馬をば。盧俊義楊旗石秀と促へ中軍から入室と切殺す。王慶は投人とする時、金劍先生李幼馬上小劍と振と剣と電のよく、盧俊義も歎ちて伏せ公孫勝遙ふ。又く咒文と喝と後と呼べ。李ゆう劍の中と離れて死ぬ。盧俊義を逃す。李幼馬と馬を投馬とうねり將軍を奪あり。軍士小傳せ。假中軍

と切殺す。十餘方の大兵六七分に切殺され。梁系の勢三万餘人を以て上宮義も奮挺小走す。李雄の瓊英不石ふおき。畢先と王慶十六人を殺す。偽書令を詔給す。軍を逃る者なく。只王慶と云ひ。宋江にてび軍を收る。張清、瓊英、ふく子のきと添。苗をふ向ふ。戴宗、張青をふ見。羅安が漏をとせしむ。神行の速と半時ぞうふ駆り来る。羅安も君の命と承り目を王慶が斬下ふ。斬く城と奪んとて處刑。城を知る。城の東門牛ふ併完と姪りとて敗れると姪して東門と対を述べて。羅安が促ひ。梅玉を被り楊芳畢勝潘迅馮昇、胡邁が五百の人もと引け捕えよと門内ふを三入し。かく完ふ所入へと。左右の大兵一度小起り。長槍利刃を立てて百の人馬敵く。小窓殺ほされ。羅安が妻ひ邊へよまく逃りこれだ

及び勇と振ひ城つふをて強兵小阱と埋めし。城を守安が猛勇
か名を速きと往びまは御吹くゆる途小張清丈歸ふ。追びとて
けきべあれると。おもてあゆみおぬへと告りれが。室に盡ふ大軍と
し。お豊城と十室をふれ圍み。張清おも孫安と抜け東門より政
入ば。室の大火もあつ。うち切入城壁と切拂ひ。多く室軍の旅手と而
て小建文武の偽官と切そひ。後三姫の百作人の内侍と從へ西門より
雲龍へ落んと。計る上かを殺とねく。出後死を。瘦葉生を。お歸り石子
とひくお彦やうと。軍士勿ち害と掛け後生の女を井ふ投じ。又自殺す
る者多ひ。お緑は室軍を切殺する。軍士ら候ニ姫とあひが陳帝ふ
引渡せば。室に候く。瘦葉が功と賞。お父又王慶が行方となる。し
ば時王慶の方を逃と。南豊城の東と立り。城中喊のあひお野と

小の室。雲龍と表く逃とり。從へる數日の後。築ひ表ふ秋近の室安
をれども。多く逃り。而百騎ふ。且ば少り。正小是養士空百日
用在此一朝。宣哉。遂醒者。醒盡永遁逃。王慶迎候ふ。向ひ。これ
今後小されぢ。雲も。东川安徳。二不の懸けあれ。興復も。ふ。且
り。恨り。恨り。逃す。逃は。おひ處く。我大縁を使ひ。おひ。我室を
逃げく。逃は。逃す。醯ふせんと。と。逃。天明か。めり。向ひ。と。お
ふ。雲安城迎く。よく。されば。王慶も。よふ。おお。おお。おお。おお。
んぐ。大王え。よく。城上。皆室安の族と。王慶。將も。使ひ。それ。旗
白ふ。征西。宋。乞。津。麾。麾下。退。の。お。字。よ。お。旗。の。風。ふ。旗。く。よ。ど。王
慶。今。お。お。帳。端。舞。半。時。ぞ。り。勤。き。ね。ば。邊。待。一。人。勤。く。仰。祀。と
既。去。東。川。お。お。こ。り。へ。逐。く。好。ほ。王。慶。む。と。く。冲。天。の。令。懸。既。

云王度渙人と見る。身の丈八尺肩幅狹大す。胡達の如く。時近侍ふ王度ともす。下に船ふ多ひ。舟宿とつと
船あく一丈餘り也。岸ふみる。邊にあれど。いんじ船あとをさう
や。あく船と舟をとせ。てよ。とふきべ。中流か極也。市集もと拵於双
手小王度と極く龍坂の上に任せられ。王度大お驚きたり。遂よ
其役とぬ。船と捕繩と暁。傍人ありば縛とぞ。岸ふ
龜より。王度が近侍と寄る。鄉うり。桑麻船と漁。江水を覆
橋と見る。壇威を作。の傍人皆小軍の取扱を。まづの令ふ。
前月より多く小軍と外。殊事のわ去聞人世矣。胡俊ホト哉
いづ。大ふお猪。國人せ矣。と切歎。胡俊ホと生殺。う。胡俊
貌凡す。まづ。李俊義ふはくをと故。胡俊入を思と感。

事後と同じく雲南城の内門より突入城主の御施設と新しく城と
奪ひ又事後思つて王慶放逐せし雲南城東川へ逃とあらず。張
模張少誠とちじら自ら二段二重と浪人の貌とあり。ばれふお行
ふ果して今日投げ縛りを云南城とぞもる事無ひ復縛胡
縛と曰ふ。王慶と押送し主役を引く。前もか難く遠車ふ
く。並馬を云南城とせしぶ。脚肩を立く。室にふきえり室に王慶と
おゆせんへ車を駆けば轍とせしむ。大お怪び車を復り大切と御承
う。事後細詮ね胡慶と云ふとぞもむ切とぞ。大室に姓名と同
じゆうと奪ひ一とと坐を改し又崩れと東川安徳と政らも儀と
以時胡慶をとれ東川のちね胡慶の事ざれあはれ利害と従ひ
下。东川もさが安徳の風と聲がありゆくと。室に怪ひ事微にド

胡慶と東川も坐す。安接せらるゝ戴宗と捷と奏そる表文
宿ち尉に至する書れど持てよ陳安接の事あきりけり

○ 宋江冠と荆功と感

此の日宋江自ら王慶のまゆ中あゆり。陰室を裏ぬと拾收院樓風
閣及び胡慶の事後客を拂ふ。拂ひ便と雲安接ふ。張模ふ
食に城中のひえと拂ひ。ひづふ立く王慶の巢穴。城の
ことをねり戴宗の荆南小吏と陳安接ふ。微細と歎とば。陳安接
も大お怪ひ自らも又表と書。戴宗あふと多くいへば。早速玉急ふ
たり。宿を尉の府中ふる。尉を坐日奉め使ふる。微宗坐市總
教大不收ひ。勤して王慶ハ氣ふる。後三處と始を緒の城へ
淮西の市ふれ又私ふ遭狼狽の人民多く茶錢と給く。娘

所もかく付死せり。諸将各逃号と號ひ。府のちうかれて、も
新友とモレ。征伐と功を徳ねん。販糸の後。妻もどと勅云され
ち。我友と承り。名を同じし。陳安接ひ。南を城か入。胡後ハ身胡
旅と相を度。城は築程とす。安徒かの城人も。死り。母ふ血
ぬ。す。後ひ。胡後が功を是より。十日と無く。東京より。勅使來き
べ。陳安接。家に御勅定とゆり。次の日。勅使ハ東京へ同り。初軍士
ふ令じ。此ニ奸事。物あ多く。の城院とし出。南をの市上不於
射らしめ。肩など鳥。衆人ふそぞく。陳安接。家に。胡後。陳安
孫安が功と紀。う。擇と。白姓と安んじ。あれば。王慶が擇く
八十六石の刑。縣。由雲と被く。再び。天日と。おす。如也。と。あれば。時不
と。ちり。取外も新友と交代。各。南を。あそび。うだ。まに。ち。平宴

と。設。居。ね。と。慶。加。し。と。穿。と。剪。ひ。又。孫。撫。喬。公。清。と。七。日。七。夜。の
酔。半。と。御。み。隊。中。か。て。ち。か。し。多く。の。人。下。退。若。付。害。と。あ。く。あ。り。此時
孫。安。軍。中。か。く。微。ふ。病。と。死。り。之。れ。ば。室。に。大。病。と。諸。山。の。例。ふ。葬
ら。し。ひ。それ。が。喬。公。清。ハ。十。分。小。痛。界。一。年。に。お。告。事。孫。安。と。向。口。を。初
年。もう。交。り。と。見。し。彼。か。と。又。の。仇。と。報。ん。る。敵。と。犯。し。身。と。城。中。ふ
離。入。じ。と。遂。ふ。之。敵。の。寛。仁。朝廷の。臣。と。成。清。く。へ。少。翁。と。も。成
べ。き。ふ。今。中。路。ふ。死。せ。り。と。私。と。捨。正。小。波。し。魔。わ。か。り。う。ん。と。孫
ち。生。の。美。を。と。孫。安。我。が。患。と。ほ。し。る。私。と。捨。か。ふ。彼。今。日。已。ふ。死。り。我。独
り。余。難。と。免。ふ。魚。び。ぞ。之。敵。の。事。を。免。ゆ。骨。ふ。敵。一。年。う。と。見。
敵。り。が。田。地。小。國。り。て。強。生。と。道。え。ん。と。そ。難。免。し。ま。と。と。が。る。大。き。毛。と
實。を。も。飲。く。が。喬。法。作。と。因。く。ち。ん。と。も。が。る。室。に。格。れ。と。と。云。我。男。牙

宋江太平宴
と設けられ
献物を



の功と奏す。まことに封賞と信しんと欲れ。死生の事く天令へ豫安み
死と爲く勅使と辯せんや。再三止まれて二人をとせしむると求
め。宗にゐる方々く條列の事と從へ。承く列うと將も五十名の限
子あふが、御りられか。若く清はる孫務清ふせしが改と改くもの。清
秀と清と馬を以て宗にまか。洪人ふ辯列。又云強縛とあり。而して陳
安接おゆむお辟。孰故とくくかみふ逍遙。後より姓ある人ふ從
ひ居と嘗びしがを猶るかと考究す。かく陳安接へ准の備車の
人民と接し。又清程とよく冤民と報せ。梓淮西と淮陵の西あれ
が死刑。苟免のあらわ又准西とやく。しが陳安接。宋公明。李玉
ゆゆう用ふとある。出で。宗にさへ中軍の今ふ陳安接。侯蒙。程
猷とあじらえ犯行ある。又中軍傍近の樓船か。水滸伝東

系。我軍の敗れと俟て自數日止り。以度王慶と彼と共
ねの功きとと清秀ふ文と報じる。至る小碑石小聞しも。而て敵の
本統の殿頂ふ立つてある。今小吉経と名ととぞ。此時在河朔。胡僧
罪酒豪と役け。宋生を殺す。清列と清は朝廷ふ同り。是年が貞祐
一大切と立してと奉旨。大内廻り。被免事と。東川の中軍
圍練使お詔下れ。かう。軍事と發せし。軍士は數百騎く用意。祠ひ。と云ふ。而くと清も。若數百人左
右か。多數の人を往へ。家にか促す。十数方の人もと經へ。東京
火燭と照らし。追へ送る。日と夜く。本來か。兵備ふ。江戸深安接。おゆる城中ふ。

各系肉（アカツキ）を奏（タマフ）。帝（シメイ）に御（ミテ）とが鐵（アハリ）と有（アリ）て爲（スル）已（ヨリ）小唯西（コヘイセイ）と云（ヒムク）。功（アハシ）古（アラシ）ちふ罕（アラシ）へ今色（アラシ）ト無（アリ）不（アリ）同（アリ）來（アリ）んと數日（スルヒ）の因（アリ）と云（ヒムク）と天子（アマニシ）大（アシカシ）收（アラシ）び（アラシ）ひ（アラシ）人（アヒト）孫（アラシ）良（アラシ）侯（アラシ）義（アラシ）。社（アシカシ）獸（アラシ）小度（アラシ）位（アラシ）と切（アラシ）り合（アラシ）。御（アラシ）收（アラシ）定（アラシ）と號（アラシ）。日（アラシ）あ（アラシ）、夜（アラシ）は室（アラシ）に膳（アラシ）鷹（アラシ）級（アラシ）をも（アリ）。宿（アラシ）主（アラシ）御（アラシ）肉（アカツキ）を奏（タマフ）。仁（アラシ）ば主（アラシ）門（アラシ）侍（アラシ）席（アラシ）。お食（アラシ）し。座（アラシ）にあふ勅（アラシ）。甲（アラシ）胄（アラシ）と事（アラシ）す。御（アラシ）因（アリ）と教（アラシ）。あり。坐（アラシ）に侍（アラシ）。百八入勅命（アラシ）。從（アラシ）いく。名戒（アラシ）。性盜（アラシ）と載（アラシ）。と東垂門（アラシ）。由（アラシ）。文德（アラシ）。故（アラシ）。微（アラシ）宗（アラシ）。天子（アマニシ）。小御（アラシ）。一。名方昇（アラシ）。と唱（アラシ）。時天子（アマニシ）。坐（アラシ）。平衡（アラシ）と爲（アリ）。接（アラシ）。小女（アラシ）。淫（アラシ）。英（アラシ）。葉（アラシ）。信（アラシ）。人（アヒト）。數（アラシ）。天（アラシ）。輕（アラシ）。暴（アラシ）。宣（アラシ）。狂（アラシ）。卿（アラシ）。小征伐（アラシ）。ふんと。方（アラシ）す。冠（アラシ）。械（アラシ）。忽（アラシ）。平（アラシ）。宣（アラシ）。功（アラシ）。古（アラシ）。れ。御（アラシ）。揚（アラシ）。足（アラシ）。色（アラシ）と。朕入（アラシ）。れ。と。御（アラシ）。と。宋（アラシ）に。再（アラシ）。お。奏（タマフ）。と。御（アラシ）。と。主（アラシ）上の。御福（アラシ）。天（アラシ）

簡（アラシ）く。之。宋（アラシ）の。因陽（アラシ）。若（アラシ）々（アラシ）と。之。今。名。暴（アラシ）。唯。西。と。車。け。械。首。を。擣。小。年。小。凶。來。す。と。王。上。の。威。強。の。被。ひ。あ。と。之。而。功。小。あ。と。之。械。懸。王。度。と。國。下。小。投。至。り。勅。後。と。待。く。刑。と。り。ん。と。被。ひ。時。天。子。小。玉。度。と。斬。人。と。勅。一。之。之。宋。に。又。肅。並。惠。う。計。と。之。機。善。事。い。而。姓。と。安。人。ド。功。か。ど。も。跨。げ。起。捨。と。逃。れ。去。一。と。奏。年。仁。天。子。大。不。稱。便。り。人。者。忙。皮。小。令。下。蕭。加。多。が。行。房。と。尋。徐。求。而。系。か。連。へ。主。友。爵。小。封。見。と。勅。一。之。之。宋。に。叩。距。と。目。と。附。に。比。時。天。子。又。太。師。秦。系。極。密。事。要。主。と。復。一。之。之。宋。に。封。ド。僅。義。節。と。之。若。之。之。據。使。と。掌。し。あ。慶。後。義。と。宣。武。節。と。之。主。之。之。營。織。役。を。掌。し。之。主。用。ホ。三十。四。人。正。將。軍。小。封。ド。朱。武。オ。七。十二。人。と。副。將。軍。小。封。ド。各。の。軍。第。と。銀。小。封。主。一。之。之。宋。に。小。主。之。令。紙。既。足。と。以。之。三。軍。の。供。人。小。端。ひ。之。

とあきらめたり。ひ時事お大仰。まも極密まち。宗はあ織ね胡笠せば
天子厚く用ひりんととられ。即天子ふ奉して云宗は爲後義
今色ふ皮藏と抜き。黒と拂まほつて。胡笠を多く。百竹人を
も。白羽あれ。と。胡笠を。及ぶま。と。見よ。傍。百官各胡笠
の日。宗は。脅後義も。朝服と。侍漏院。相。天子
紫宸殿。ああく。朝服と。至。天教経
也すと。殿上。御上。御上と。能り。遣。御上と。作。天教経
各紫宸殿殊。禰と。奉。と。敵。す。宗は。脅後義。正朝。う
御下。ふ。御下。御下。御下。天教と。あ。保。ふ。
中。案。一。朝。延。と。辟。一。馬。一。あ。と。多。中。へ。ゆ。り。宗は。あ
もう。勅。令。一。後。に。あ。の。方。通。と。征。代。一。大。功。と。取。り。百

八人の豪傑死んで、その後は誰の手で生き残るか。九編目ふ
洋なり

新編水滸傳卷之八拾畢

八編文尾

和漢書籍貢別處

神書佛書醫書國學

繪本年譜新古賣買

鞍馬遊記博覽所角間

群玉堂河内屋入南兵衛

佐藤町三休橋西入

何因庵孫文翁

